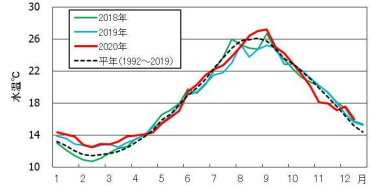
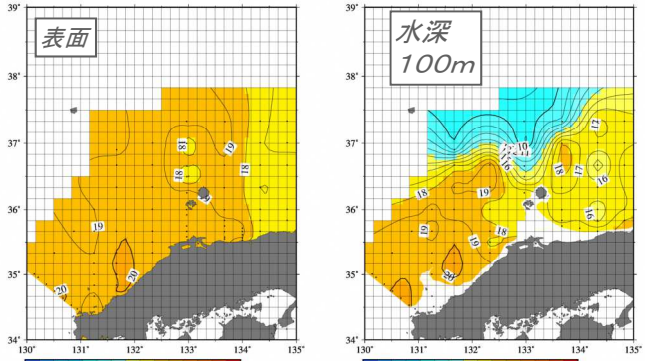




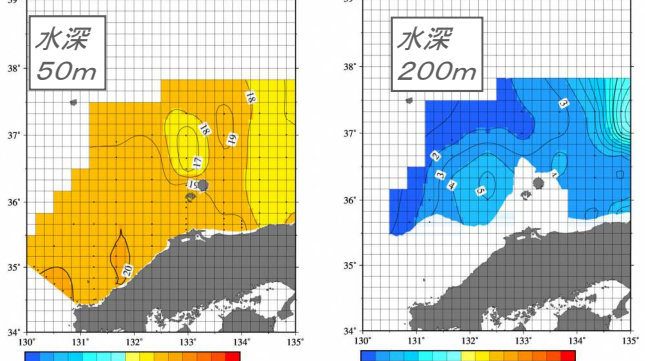
鳥取沿岸の水温
鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)
12月中旬 16.0°C
平年より0.8°C高め



発行 鳥取県水産試験場(電話:0859-45-4500)
試験船による海洋観測結果(12月上旬)

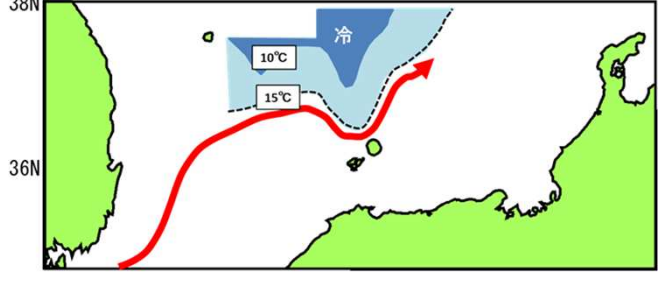


鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域の水温は17~19°Cで、平年(直近20年)よりやや高めの値(+0.8°C)を示しています。
水深100mの水温は16~18°Cを示し、平年並みの値となっています。



水深50mの水温は17~19°Cを示し、平年よりやや高めの値(+0.7°C)を示しています。
兵庫県西部沖北緯36°50'以北に暖水域(10~13°C)があります。

12月上旬の水塊配置と対馬暖流



鳥根沖冷水	鳥根県沖北緯36°40'50'以北に認められます(15°C以下)。また、隠岐諸島北方にも、15°C以下の冷水が張り出しています。
山陰・若狭沖冷水	鳥取県東部、兵庫県沖では北緯37°以北に認められます(15°C以下)。
対馬暖流主流の流路	鳥取県沖では、15°C等温線に沿って北緯37°以北を北東に向かい流れていると考えられます。

*県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ(鳥取県水産試験場で検索してください)に詳しく掲載しています、是非ご利用ください。

★水産課からのお知らせ★

「蟹バレルーヤ チャレンジ22」を期間限定配信!



カニの水揚げ量日本一を誇る「蟹取県」では、「松葉がに」をはじめとする本県の魅力を伝えるために、お笑いコンビ「ガンバレルーヤ」がPR大使「蟹バレルーヤ」として活動しています。そして今回、鳥取のカニ料理やカニ知識の勉強にチャレンジする全22本のYouTube動画「蟹バレルーヤ チャレンジ22」を、鳥取県公式の「蟹取県 ウェルカニキャンペーン」サイト上で限定公開します。

- カニくん2号も緊急参戦!
- 「コロナや災害に負けず、みんな蟹バレルーヤ(ガンバレ)!!」
- 動画配信:2020年12月3日(木)~2月上旬(予定)
- ※本キャンペーンサイト内のみで視聴可能。
- 蟹取県ウェルカニキャンペーンサイト



: <https://www.kanitoriken.jp/>

栽培漁業センター

とと塾R1回目「新たな資源管理+サワラ」を開催します

令和2年12月1日、70年ぶりに改正された漁業法が施行されました。この改正漁業法の筆頭に「新たな資源管理システムの構築」が挙げられ、令和5年度までに200魚種程度に資源評価魚種を拡大する予定です(2018年は50種)。また、クロマグロやズワイガニのようにTAC(漁獲可能量)を定められる魚種も現行の8魚種から20魚種程度まで増やす運びになります。このため、近い将来、沿岸漁業対象魚種も多くが資源評価魚種となり、サワラやブリ、マダイ、ヒラメといった沿岸重要魚種もTAC管理されることが予想されています。

では、改正漁業法でどのように変化するのか? 資源評価ってどんなことをしているのか? 栽培漁業センターはどのような対応を考えているのか? といったことをお知らせする機会を設けたいと思います。

なお、堅苦しい話だけでは面白くありませんので、現在行っている、サワラ曳縄釣の改良(サンマの代替餌、疑似餌)についてもお話しさせていただきます。ぜひ参加していただきたく思いますので、御検討よろしくお祈りします。

【仮日程(1週間前までに各漁協・支所に確定日等をお知らせします)】
開催予定日: 令和3年1月22日(金) 午後2時~1時間程度

開催場所: 栽培漁業センター会議室
その他: 新型コロナウイルス対応として、事前に参加者を把握させていただきます(20名以内)。御参加の際には事前の検温、マスク着用等の感染予防対策をお願いします。

水産試験場

令和2年度第1回境港地区漁海況連絡会議

境港地区の水産関係者等の皆さんを対象に、水温等の海洋環境やアシ・サバ・イワシ等の浮魚、ハタハタ等の底魚類における漁模様や今後の見通しに関する連絡会議を12月10日(木)にみさき会館で行いました。

海況: 1月上旬の鳥取県沿岸域の水温は前年より低めに推移し、冷水域は前年と比べ接岸傾向を示すと考えられる。

本年12月~来春3月までの各魚種の見通しは次のとおりです。

スルメイカ	12月は前年を上回り、平年並み。1月、2月は前年を上回り、平年を下回る。(海況の特徴が、前年と比べ豊富傾向を示すため)
マアジ(まき網対象)	前年、平年を下回る。(主体となる1、2歳魚(体長15~20cm程度)が少ないと見込まれる)
マイワシ	平年を上回り前年並み。(資源は増加傾向)
マサバ	平年並みで前年を上回る。(資源は増加傾向、漁況も上向いている)
ズワイガニ	資源量について、「松葉がに」は、比較的高水準。「親がに」は、減少。「若松葉がに」は、前年並み。
ソウハチ(エテガレイ)	前年を上回る。(鳥根県以西で好漁)
マダラ	前年を上回る。(鳥根県以西で好漁)
ホッコクアカエビ(あかえび)	前年並み。(隠岐北方沖・但馬沖で好漁)
ハタハタ	前年を上回る。(資源量は前年並み)
アカガレイ	前年を下回る。(2016年以降、小型魚の加入が見られているものの、資源状況は悪化傾向)

今回の特別講演は、(国研)水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源研究センター 研究員 佐久間啓氏を講師にお招きし、「日本海西部に分布するマダラの特徴」について講演していただきました。日本海のマダラは、若狭湾を境に北部と西部で遺伝的に異なる群れであり、特に西部のマダラは、耳石解析の結果、成長が早くより大型になることや漁獲成績報告書等から産卵回遊の仕方を明らかにするとともに、韓国周辺で産卵しているなどのお話があり、来場者の皆さんが熱心に耳を傾けていました。



令和2年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

潮に夢を

共和水産株式会社

代表取締役 岩田 祐二

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530